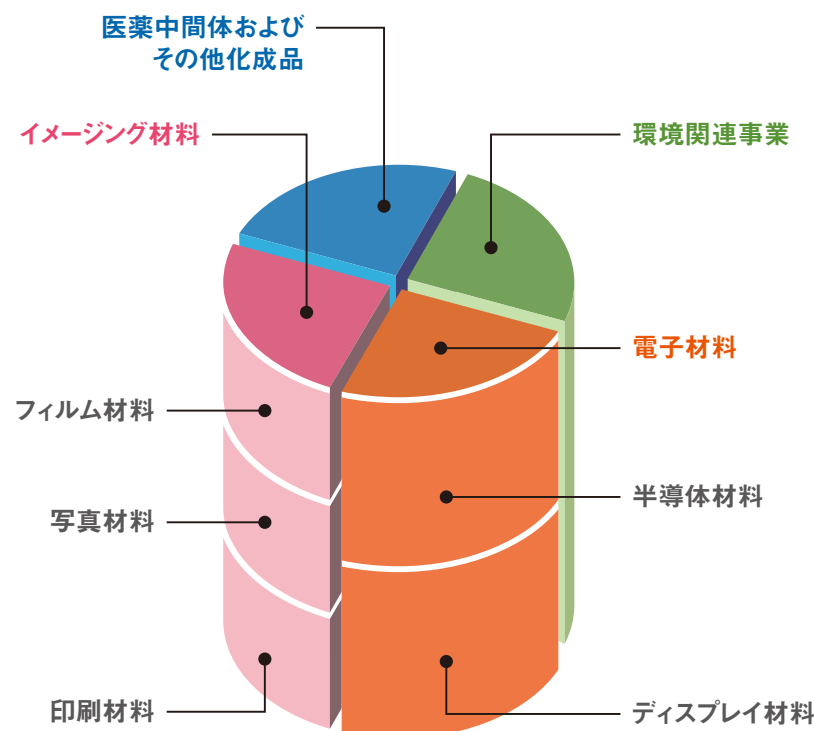


事業紹介

技術立社の基盤を支える

独自の発想、最新の設備・技術

「化学」が持つ「不思議なチカラ」を暮らしに、社会に、未来に役立つ「特別なチカラ」に変えていく。当社には、研究者が直接お客様のニーズをお聞きし、独自の視点、発想力と、歴史の中で蓄積した経験とノウハウを活かし、大量生産を可能にする技術力があります。そして、その「特別なチカラ」を生み出す設備群。安全・安心で高い品質を維持しながら、世の中に安定して送り出すために、品質保証、安全管理、および環境管理体制の構築。そのトータルな力が一歩先をゆく「スペシャリティ・ファインケミカルメーカー」、技術立社のダイソーケミックスを支えています。



事業ポートフォリオ

各セグメントの概況について

半導体材料は、需要の拡大により販売が増加しました。ディスプレイ材料は、有機EL関連材料の需要に回復が見られました。写真材料では、インスタント写真向け材料の販売が好調に推移いたしました。印刷材料は、新規受託製品の販売が開始となり、販売が増加しました。医薬品業界では、当社が販売する医薬中間体は在庫調整により低調に推移いたしました。

セグメント	2024年度 売上高構成比	主な製品	2024年度 振り返り
電子材料	60%	先端フォトレジスト材料、i線フォトレジスト用感光性材料、光酸発生剤、カラーフィルター用材料、有機EL材料、永久膜用材料	半導体用感光性材料は、販売数量、売上高ともに増加いたしました。ディスプレイ用材料は、製品構成により、販売数量は減少しましたが、売上高は増加いたしました。電子材料では、生成AIに代表される最先端半導体の需要は拡大いたしました。レガシーを含めた既存製品の本格的な回復は2025年度以降の見込みです。ディスプレイ材料はスマートフォンなどの電子機器需要が好調に推移いたしました。
イメージング材料	24%	フィルム用材料、記録材料、インスタントカラー用色材、インクジェット用色素	フィルム用材料は、販売数量、売上高ともに増加いたしました。写真材料は、製品構成により、販売数量は減少しましたが、売上高は増加いたしました。印刷材料は、販売数量、売上高ともに増加いたしました。写真材料は、引き続きインスタント写真向け材料の販売が非常に好調に推移しており、安定した需要が見込まれています。印刷材料は、新規受託製品の販売が開始され、これに伴い販売が増加しました。

事業ポートフォリオ（続き）

セグメント	2024年度 売上高構成比	主な製品	2024年度 振り返り
医薬中間体およびその他化成品	7%	国内外製薬メーカー向け医薬中間体、国内外メーカー向け化成品	医薬中間体は、販売数量、売上高ともに減少いたしました。その他化成品は、販売数量、売上高ともに増加いたしました。医薬中間体は、当社が販売する医薬中間体の需要変動が大きく、2024年度は在庫調整により低調に推移いたしました。
環境関連事業	9%	産業廃棄物処理、化学品リサイクル	受託量は減少しましたが、注力しているニッチ領域での受託の創出により、売上高は増加いたしました。既存取引先の堅調な推移に加えて、医療・食品等の新たな分野への参入に伴い、出荷量、売上高ともに増加いたしました。環境関連事業につきましては、産業廃棄物処理分野では、積極的な受託活動により、売上高が増加いたしました。化学品リサイクル分野では、新規分野への参入に伴い好調に推移いたしました。引き続きリユース、リサイクルへの関心は、高くなってきています。

電子材料



2024年度の業績

売上収益

112億 65百万円 前年度比 14.1%増

2025年度の基本方針

半導体材料は、需要拡大に伴う顧客ニーズに確実に対応してまいります。さらには需要が旺盛な最先端材料の新規開発に取り組み、新工場での製造品目拡大を目指してまいります。ディスプレイ材料は顧客ニーズに対応し、新規設備での製造品目拡大を目指してまいります。

● 電子材料 売上高



● 重点的な取り組みについて

電子材料は、半導体集積回路のさらなる微細化、自動車のエレクトロニクス化、IoTの進化、スマートフォンやタブレット端末等のスマートデバイスの需要増により、今後も成長が見込める分野です。微細化に向けた最先端のArF液浸材料およびEUV材料開発においては、顧客の開発スピードや高度化する品質要望にタイムリーに応えるため、技術開発センターの試作ライン、福井工場の量産化専用ライン、そして極微量元素分析装置の充実を図るなど、少量試作から量産までの一貫した製品開発に積極的に取り組んでいます。フラットパネルディスプレイ材料においても、従来の製品に加え、カラーフィルター用材料、永久膜用材料などの、高性能・高品質な材料開発を顧客とともに精力的に進めています。

イメージング材料



2024年度の業績

売上収益

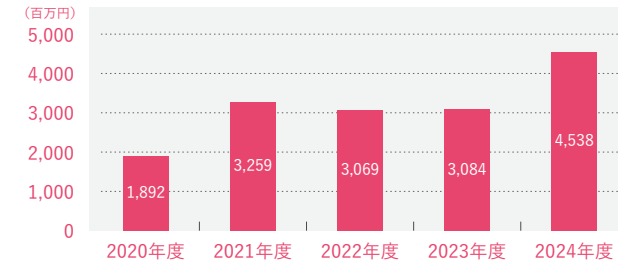
45億 38百万円

前年度比
47.1%増

2025年度の基本方針

インスタント写真は堅調な需要に継続して対応します。印刷材料は、新規受託品の安定的な製造に努めてまいります。

● イメージング材料 売上高



● 重点的な取り組みについて

写真材料の製造技術が応用される画像表示材料は、成長が期待されるスマートデバイス等の材料としても使用されており、積極的にコスト低減を行い、多岐にわたる用途への展開を目指しています。また、ディスプレイの高精細化に伴う高性能・高品質な材料開発を顧客とともに進めています。さらに電子写真用や印刷用の記録材料の開発も手掛けており、新製品の試験生産から商用品の量産化の体制を整え、高品質な記録材料を提供しています。今後も、主力製品群の拡販に向け、顧客開拓とコストダウンを積極的に進めてまいります。

環境関連事業



2024年度の業績

売上収益

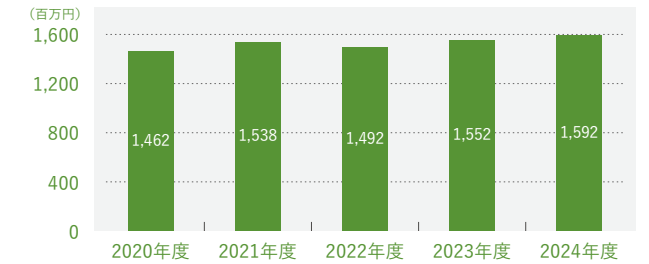
15億 92百万円

前年度比
2.6%増

2025年度の基本方針

産業廃棄物処理技術、薬剤リサイクル技術および有機溶剤の回収技術を活用し、地球環境の保護に努めてまいります。さらに、事業の永続化に向けて、処理技術、回収技術を向上させ、産業廃棄物処理分野および化学品リサイクル分野の開発力、競争力を高めるべく事業を推進してまいります。

● 環境関連事業 売上高



● 重点的な取り組みについて

産業廃棄物処理分野では、年々処理が困難になりつつある難処理廃液に対する処理技術の開発および廃棄物の有効活用化ならびに製品化等に取り組んでいます。化学品リサイクル分野では、再生利用が難しい廃溶剤のリサイクル技術の開発や、廃棄物として処理されていた化学品のリサイクル技術の開発に取り組んでいます。さらに、高度分析装置や試験生産設備を活用して、電子工業用グレードにも対応した製品開発を推進しています。また、工程改善やリサイクル率のアップなどの原価低減はもちろんのこと、さらなる品質の維持向上にも注力しています。

医薬中間体およびその他化成品



2024年度の業績

売上収益

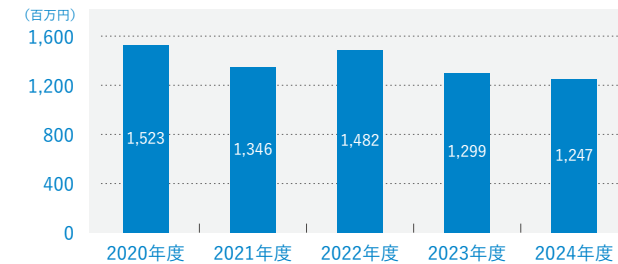
12億 47百万円

前年度比
4.0%減

2025年度の基本方針

顧客需要に合わせて、当社主力製品の安定した提供を継続します。将来的な新製品開発などにも取り組みます。

● 医薬中間体およびその他化成品 売上高



● 重点的な取り組みについて

当社は、ファインケミカル製品の開発で培ってきた技術力の活用と新規技術の積極的な導入により、主に国内外の大手製薬メーカーからの受託製造を進めています。開発活動といたしましては、ヘルスケア用途向けの各種材料の開発に取り組んでいます。迅速な対応が求められる納期および品質への対応や、コストダウンに向けた製造プロセスの提案など、顧客ニーズに合致した開発活動を継続しています。

CSR基本方針

当社は、社会の発展に貢献し、社会の期待に応え、社会から高い信頼をいただける会社を目指し、企業存続の根幹をなす法令遵守をはじめとした「企業倫理活動」とものづくりに欠かせない「レスポンシブル・ケア活動」を二つの柱とし、CSR活動に取り組んでいます。

主な活動		関連するSDGs	掲載ページ
E 環境	省エネルギー・省資源	6 安全な水とトイレを世界中に	▶ P26 ~ P28
	廃棄物管理	7 再生可能エネルギーを世界中に	▶ P26 ~ P28
	化学物質の適切な取り扱い	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	▶ P26 ~ P28
S 社会	法律、規制、要求事項等を遵守	11 住み続けられるまちづくりを	▶ P29
	職場の安全衛生、ハラスメント	12 つくも豊かにつかう資源を	▶ P29 ~ P32
	人材育成	14 海の豊かさを守ろう	▶ P31
G ガバナンス	法律、規制、要求事項等を遵守	10 人や国の不平等をなくそう	▶ P33
	内部統制システム	12 つくも豊かにつかう資源を	▶ P34
	情報の管理・保護	16 平和と公正をすべての人に	▶ P34 ~ P35

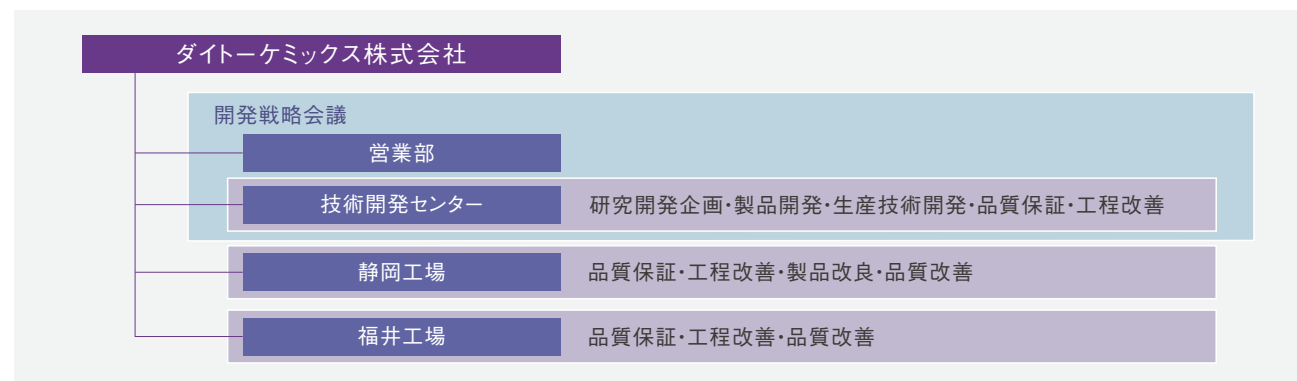
研究開発

SDGsを意識したイノベーションによる 競争優位性の高い革新的製品 および技術の開発を推進

電子材料は、当社の主な事業分野であり、半導体集積回路のさらなる微細化、自動車のエレクトロニクス化、IoTの進化、スマートフォンやタブレット端末等のスマートデバイスの需要増により、今後も成長が見込める分野です。微細化に向けた最先端のArF液浸材料およびEUV材料開発においては、顧客の開発スピードや高度化する品質要望にタイムリーに応えるため、技術開発センターの試作ライン、福井工場の量産化専用ライン、そして極微量元素分析装置の充実を図るなど、少量試作から、量産までの一貫した製品開発に積極的に取り組んでいます。また、ディスプレイの高精細化に伴う高性能・高品質な材料開発を顧客とともに進めています。

日々高まる顧客からのコストおよび品質要望に対し、技術開発センターで開発された製品の競争力をより強固なものとするために、長年培った合成技術と最新の知見に裏付けされた量産化技術とを融合させた生産技術力を駆使し、究極的な製造法の確立を目指し改良研究を行っています。製品のコストおよび品質競争力は、生産過程を総合的に作りこむことで達成しています。また、法的、社会的要請も遵守し、ISOなど品質システムに基づきつつ、さらなる品質向上とコストダウンを推進するとともに、製造責任を果たしていきます。

● 研究開発体制図



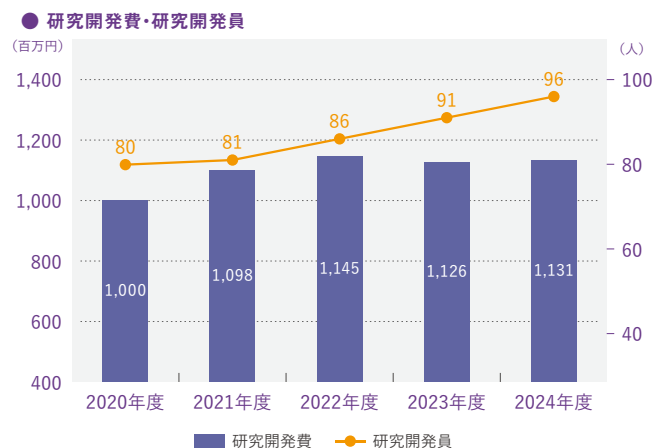
VOICEインタビュー



技術開発センター
新規材料開発グループ
MSさん

開発に対する思い

私の所属する部署は新製品・新技術の開発や大学との共同研究などを行っています。過去からの知見や経験を基に検討を進めるだけでなく、常に新しい知識を取り入れながら、新規技術や新規顧客の獲得に向け、日々試行錯誤しています。新しいことへの挑戦は簡単ではありませんが、今後も様々な分野にアンテナを張り巡らせ、新製品・新規技術の開発を目指していきます。



技術開発センター



所在地 大阪府大東市諸福八丁目3番11号
従業員数 74人(2025年6月1日現在)

地域・社会への貢献

技術開発センターは住宅や教育機関、病院等が密集する都市部に立地しています。そのため、環境モニター制度を設けて、事業活動の中で近隣住民の方にご迷惑をおかけしていないか定期的にご意見をいただいています。また、当社からも定期的に稼働状況を報告する場も設定しています。いただいたご意見を真摯に受け止め、改善していくことで、周辺地域の皆様とともに快適でより豊かな社会づくりに努めてまいります。



● 地域への奉仕活動

当社も地域の住民であることを念頭に、周辺で開催される夏祭り、秋祭り、年末の行事などに積極的に協力しています。また、毎月、事業所外周の清掃活動を実施して、地域の美化推進に貢献しています。



● 社会への貢献

当社では、定期的に従業員に対し献血活動を呼びかけ、「尊い命を救う」活動を行っています。微力ながら地域社会への貢献活動として、これからも社員・関係者による献血活動を継続し、日本赤十字社に協力してまいります。

静岡工場



所在地 静岡県掛川市浜野3110
従業員数 97人(2025年6月1日現在)

環境保全への取り組み

排水の生物処理設備を有しており、排水基準を遵守しています。2024年12月より廃水処理場にオゾン発生装置を設置し、処理水の消色、消臭、殺菌を行って河川に放流しています。これにより、放流水の環境負荷低減を行っています。また、当事業所で使用するボイラー燃料を重油からLNGへ燃料転換するなど、GHG排出量削減に向けた取り組みも進めています。



掛川市の「小学生のためのお仕事ノート」に静岡工場が掲載されました。



知事褒章を受賞しました。

地域・社会への貢献

- 2025年2月に、静岡県健康づくり活動に関する知事褒賞を受賞しました。
- 年に2～3回、献血活動に協力しています。
- 毎年6月に実施される掛川市主催の早朝海岸清掃に社員が参加しています。また、12月末には工場周辺の一斉清掃を実施しています。
- 毎年10月に開催される地域の秋祭りに献酒と寄付を行っています。
- 毎年3月に掛川市危険物安全協会主催の春の火災予防運動（掛川駅周辺での街頭広報）に参加しています。



福井工場



所在地 福井県福井市石橋町31字118
従業員数 60人(2025年6月1日現在)

環境保全への取り組み

福井県、福井市と公害防止協定を締結し、厳しい規定値を遵守して環境保全に取り組んでいます。工場内に排水の生物処理設備を保有しており、排出基準を満たした処理水をテクノポート福井浄化センターへ排出しています。また、廃液焼却設備も保有しており、各種排出物を適切な方法で処理しています。福井工場では、エネルギー使用量削減、廃棄物削減、放流水中の有害物質管理濃度などの目標を定め、環境保全活動に取り組んでいます。2024年度は廃油の外部販売・再利用を推進し、廃棄物の削減と焼却炉の稼働低下により、エネルギー削減目標を達成し、GHG排出量削減に貢献しました。

食堂棟の完成

2024年11月13日に、食堂棟が完成し利用を開始しました。従来の食堂より約3倍の床面積があり、一度に100人が利用できる広さとなります。多目的ホールとして活用できるように、プロジェクター等の附属設備も設置しました。

地域・社会への貢献

- 福井県のゴミ拾い活動「ピリカ」に参加し、毎月、事業所外周道路の清掃を行っています。
- 事業所内の緑地帯の管理に加え、地元である桑地区主催の三里浜海岸清掃に参加し、砂浜の美化推進に貢献しています。
- テクノポート福井主催の交通安全啓蒙活動や危険物消火訓練、福井市主催の自衛消防隊消防操法競技大会に参加し、地域と連携した安全活動にも取り組んでいます。



働くをもっと自分らしく！ 制度をつくる側・ 使う側から考える 健康経営座談会

当社は、中期経営課題の一環として「健康経営の充実」を掲げ、社員一人ひとりが健康でイキイキと働くことができるよう、健康経営の推進のため様々な施策や制度に取り組んでいます。今回の座談会では、制度を「つくる側」から健康経営推進委員会の管理部長と社内の産業看護師、「使う側」から営業・技術・開発と、あらゆる部門の社員が一堂に会し、職場での「働きやすさ」と「健康」について率直に語り合いました。



■ 周りも協力的で育休を取得しやすい環境

——皆さんが育休を取得しようと思ったきっかけは？

JTさん 当初は仕事を3ヵ月も休むのは難しいだろうと思っていましたが、部署の先輩をはじめ育休を取得した方々の話を聞いて自分も取得しました。妻からはとても感謝されて、子どもとしっかり触れ合うことができました。

KKさん 私は、「周りに頼れる人がいないから」と妻に育休を取得してほしいと言われたのがきっかけです。静岡工場内で育休を取得された方は多く、直前に復帰された先輩から話を聞いたことも、後押しになりました。

KSさん 男性も育休を取ることは当然だと考えて取得を決めました。当時、私の周りでは育休を取得した人がおらず、多分先陣を切ったのかなと思います。後輩にも取得しやすい雰囲気を作りたいと思いました。

TIさん 社員から出産に関する届け出があった際には、制度に従って公平に育休に関する情報を伝えています。誰でも育休を取りやすい雰囲気をつくるため、育休を取得した社員の体験談を社内報で紹介しています。

KKさん JTさんが社内報に掲載された号、見ました！

TIさん 見てくれた？周りが育休取得すると、自然とサポートする雰囲気になってくるよね。

KKさん 育休取得前は、周囲に迷惑をかけるのでは？と不安がありましたが、上司や同僚から「業務は課内で引き継ぐから自分のことだけ考えて」と言ってもらえて心強かったです！

JTさん 私も業務の引き継ぎをしっかり行って、担当する顧客も上司に対応してもらっていたので、問題なく進みました。

KSさん 私の場合は、誰が見ても分かれると自分で思える資料を作成して、引き継ぎをしました。業務の引き継ぎの仕方にはマニュアルがなく、引き継ぎ度合いも人によって異なることがあるので、それは今後の課題かなと感じました。

TIさん 各部署で特性や業務内容が異なるし、部署ごとでどうマニュアル化するか課題になるね。

MAさん 体制以外のサポートとして、私は社員の方を見かけたら意識的にお声がけをしています。何気ない日々の会話から普段の様子が知れて心身に変化があった時に気づけるので。皆さんも私と少しでも面識があれば、ちょっと聞いてみようかなと、聞くハードルも下がると思います。自分のことやご家族のことでも、気軽に声をかけてほしいと思います。



■ 日々健康に働くために会社ができること

——当社では全社禁煙をはじめあらゆる健康施策を進めていますね。

JTさん 喫煙はいつか止めたいと思っていたところ、2023年に社長が全社禁煙を宣言されました。ちょうど子どもを授かった時でもあったので、良いきっかけとなり、禁煙はもう1年続いています。

KKさん はじめは吸えなくてしんどいという声もありましたけど、少しずつ落ち着いてきましたよね。

KSさん 煙たさが無くなって空気が美味しくなった気がします。

MAさん よかった！社長の全社禁煙宣言後から私たちは1年かけて準備を進めてきました。吸う方・吸わない方それぞれの意見を聞き、最終的に禁煙するかの判断はご自身に任せました。社内で月1回の禁煙日を設けて段階的に禁煙時間を延長するなどしました。会社から禁煙補助グッズの購入、禁煙外来の受診に対して補助があり、無事

■ 社員が自発的に生活を見直すきっかけに

——様々な健康施策を実施して変化はありましたか？

KSさん 健康を気遣う生活を始めて1ヵ月、朝目覚めてすぐ起き上がれるようになりました！

JTさん 私は禁煙をしたことで食事が量が増えたのか体重が増えました(笑)。子育てが落ち着いたら趣味のランニングを再開したいですね。

KKさん 静岡工場は広いから、私は自転車での移動が運動になっているかも。最近ベジチェックで平均を上回る数値が出ました。青汁ぐらいしか野菜を摂っていなかったのですが、効果あったのかな。

2024年の10月から全社禁煙を迎えました。半年ほど経っていますが大きなトラブルはないですね。

TIさん 禁煙のほか健康経営は「睡眠・食事・運動」の3本柱で施策を実施しています。睡眠については睡眠の大切さを学ぶセミナーを開催し、食事面では野菜摂取量を測る「ベジチェック」を行って野菜摂取量の見える化を企画しました。社員食堂で「サラダ・デー」を設けたり、青汁コーナーを設置するなど積極的に野菜を摂れるよう働きかけています。運動面ではウォーキングを推進しています。アプリでチームを組み、企業対抗戦で2年連続優勝しました。その他にも昼休みには、大阪ではバドミントン、卓球やモルック、静岡ではバドミントンやウォーキング、福井ではサッカーが盛んです。

KSさん ベジチェックをするからには良い点を取りたいし、普段の食生活でも野菜を摂るモチベーションになっていますね。

TIさん そこが狙いです！やらされるのではなく、皆が自発的に行動できるきっかけを作っていきたいです。

MAさん 皆さんに元気に働いてほしいです。仕事とプライベートは切り離せないからバランスが重要ですね。何かあった時にも、思っていることを言える環境が理想です。直接上司に言いにくいなら私に話してくださいね。

つくる側 健康経営推進委員会



TIさん
管理部
管理部長



MAさん
技術開発センター
開発管理グループ
産業看護師

使う側 社員代表



JTさん
営業部
機能性材料グループ
●禁煙
●育休取得



KKさん
静岡工場
技術課
●育休取得



KSさん
技術開発センター
電子材料開発グループ
●出生時育休取得
●育休取得